

7 - 7 北陸 - 近畿および近畿 - 山陰地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測結果 (暫定値 ; 2000 年 11 月 ~ 2001 年 10 月)

Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki and Hokuriku District (Preliminary Report ; November 1, 2000-October 31, 2001)

京都大学 防災研究所・大学院理学研究科  
Disaster Prevention Research Institute and  
Graduate School of Science,  
Kyoto University

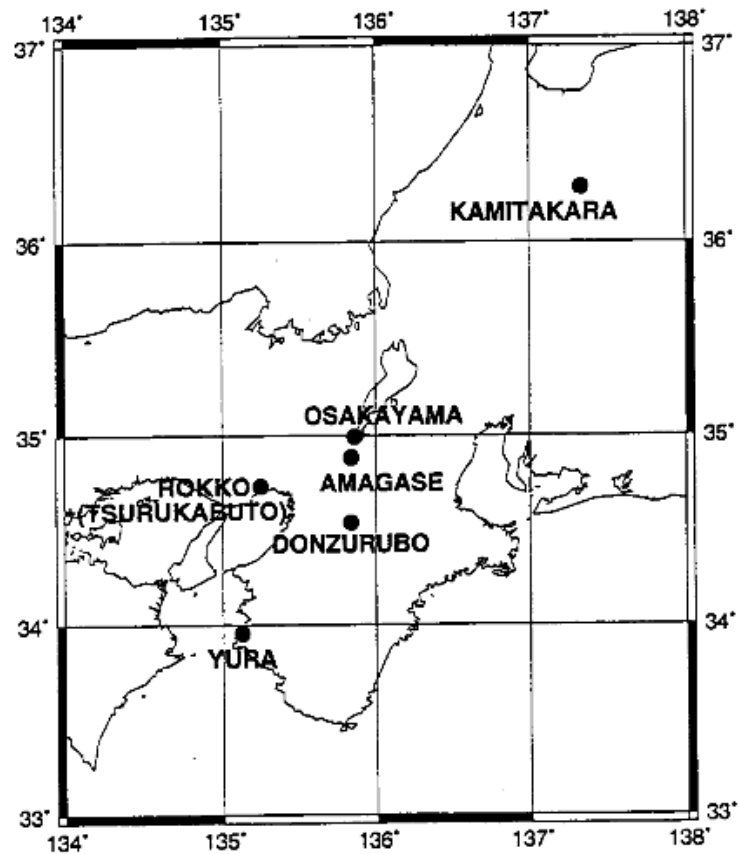
北陸 - 近畿および近畿 - 山陰の両地殻活動総合観測線を構成する観測点のうちから，第 1 図に示す上宝蔵柱，由良，逢坂山，天ヶ瀬，屯鶴峯および六甲鶴甲の 6 点で観測された最近 1 年間 (2000 年 11 月 ~ 2001 年 10 月) の地殻ひずみを第 2 図から第 5 図に示す。一部の観測点では，傾斜および併行観測をしている雨量，気圧も示す。

プロット値は基本的には時間値であるが，天ヶ瀬のみ分値プロット(秒値平均)であり地震時の歪地震動がスパイク状に表れている。屯鶴峯は潮汐成分除去済みのものを示す。

季節変化のパターンは降雨により左右されるが，この 1 年は比較的寡雨でもあり，全般的に季節変化振幅がかなり小さいのが特徴である。単調な経年変化に対して '00 年 11 月始めの台風 20 号と秋雨前線停滞による雨，'01 年 3 月の低気圧の連続通過，それに梅雨期などの擾乱が乗っている。

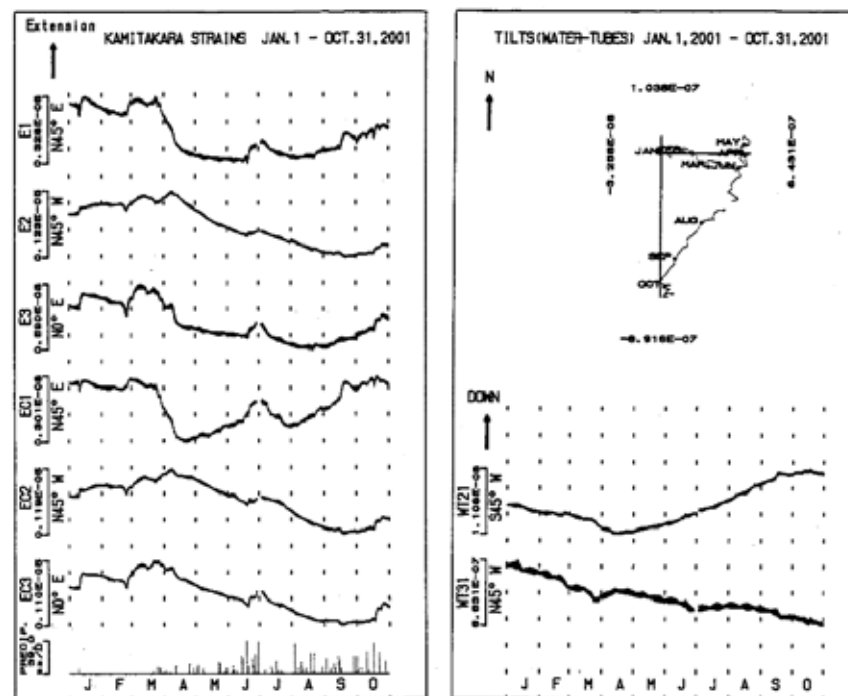
欠測は機器障害によるものや坑道内工事 (屯鶴峯) の他，雨や経年変化によるスケールアウト (逢坂山，六甲) で生じており，一部は現地収録データで補間できるものもあるが本稿はテレメータ記録による暫定値である。

(文責 大谷文夫)



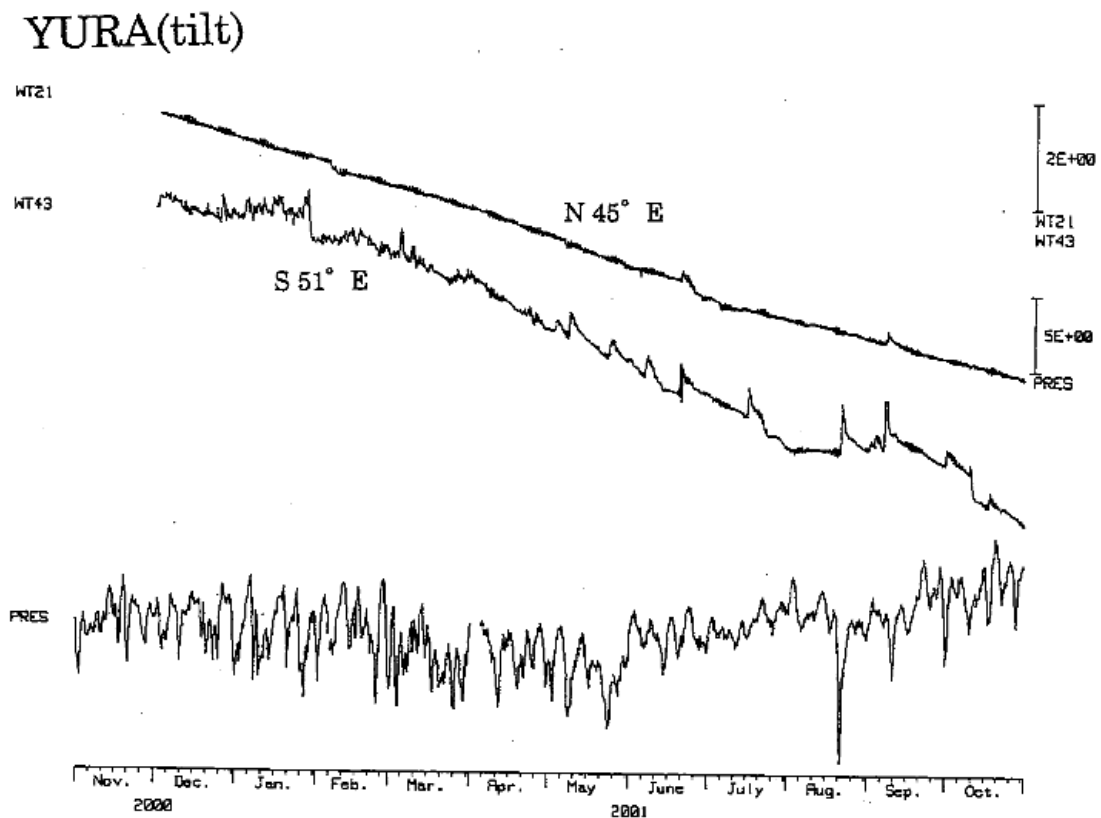
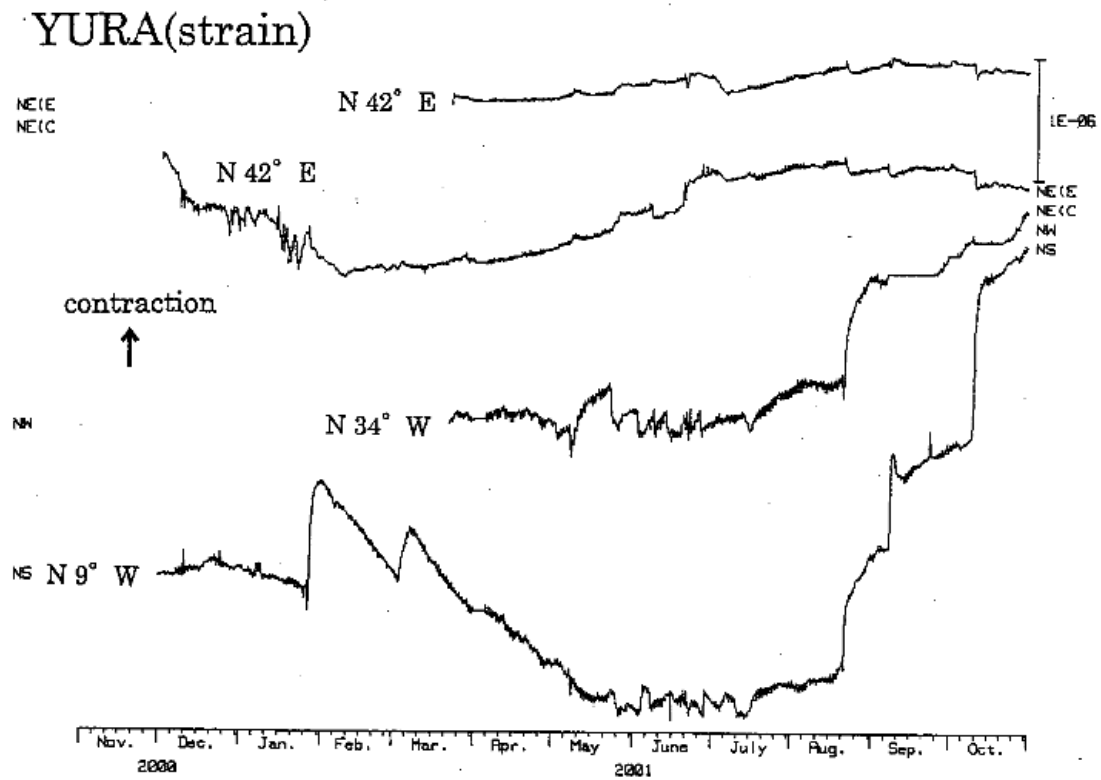
第1図 観測点の位置図

Fig.1 Observation stations.



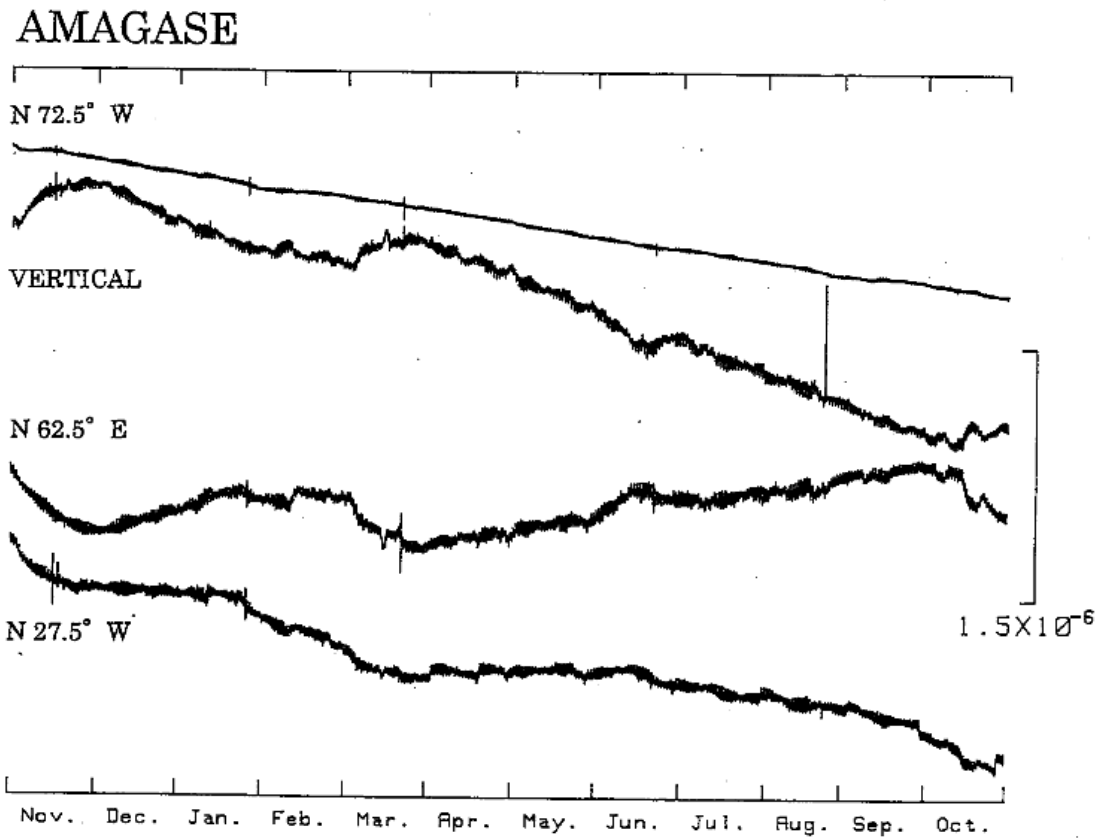
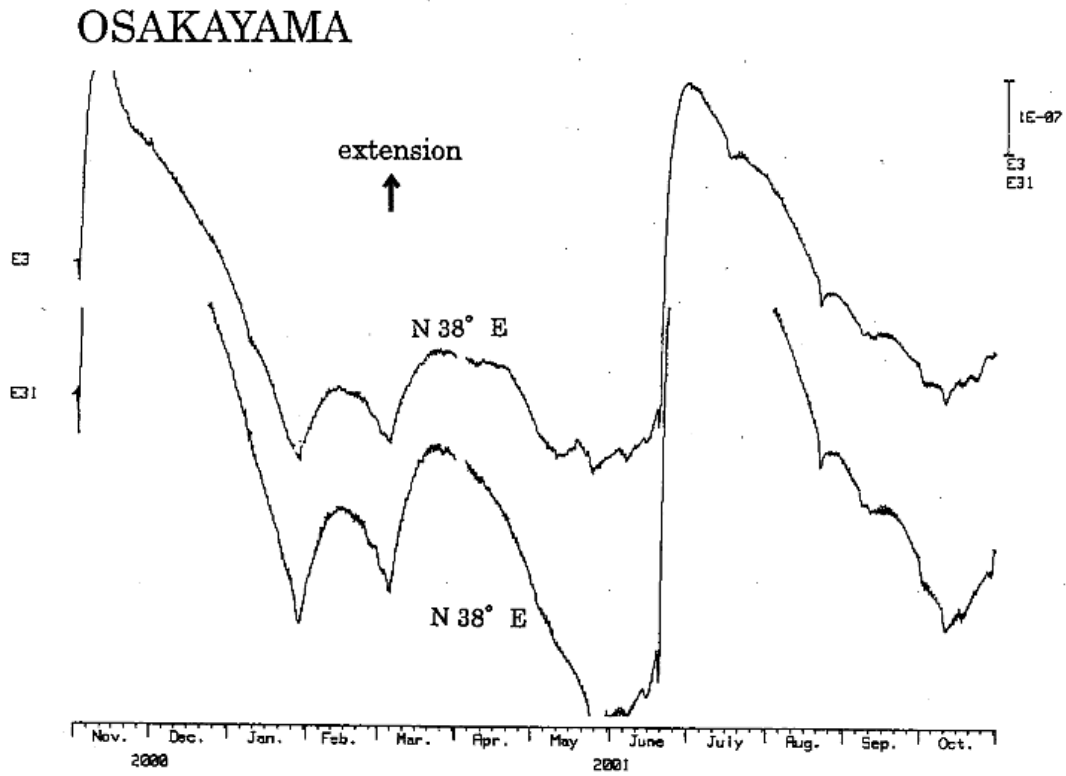
第2図 上宝観測所蔵柱観測室におけるひずみ・傾斜変化と日雨量  
(2001年1月~2001年10月)

Fig.2 Strain change, tilt change and daily precipitation at Kamitakara  
(January 1, 2001-October 31, 2001).



第3図 由良観測室におけるひずみ・傾斜変化と気圧(2000年11月~2001年10月)

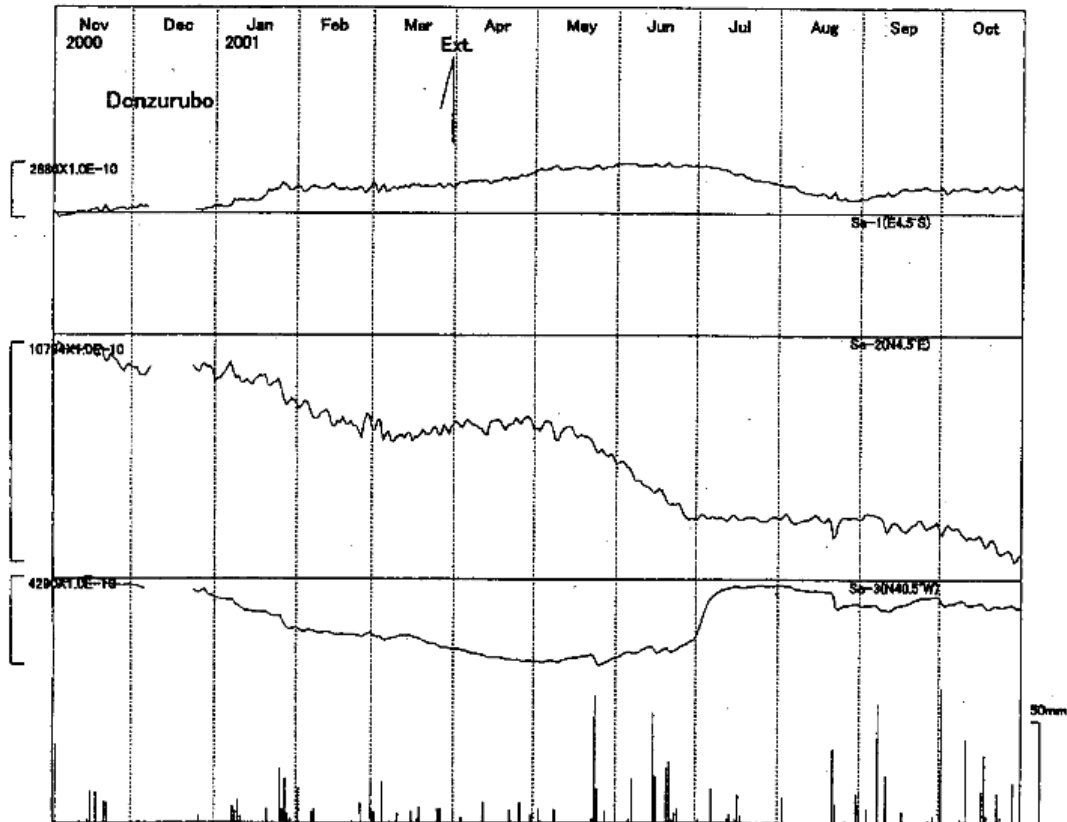
Fig.3 Strain change, tilt change and barometric pressure at Yura (November 1, 2000-October 31, 2001).



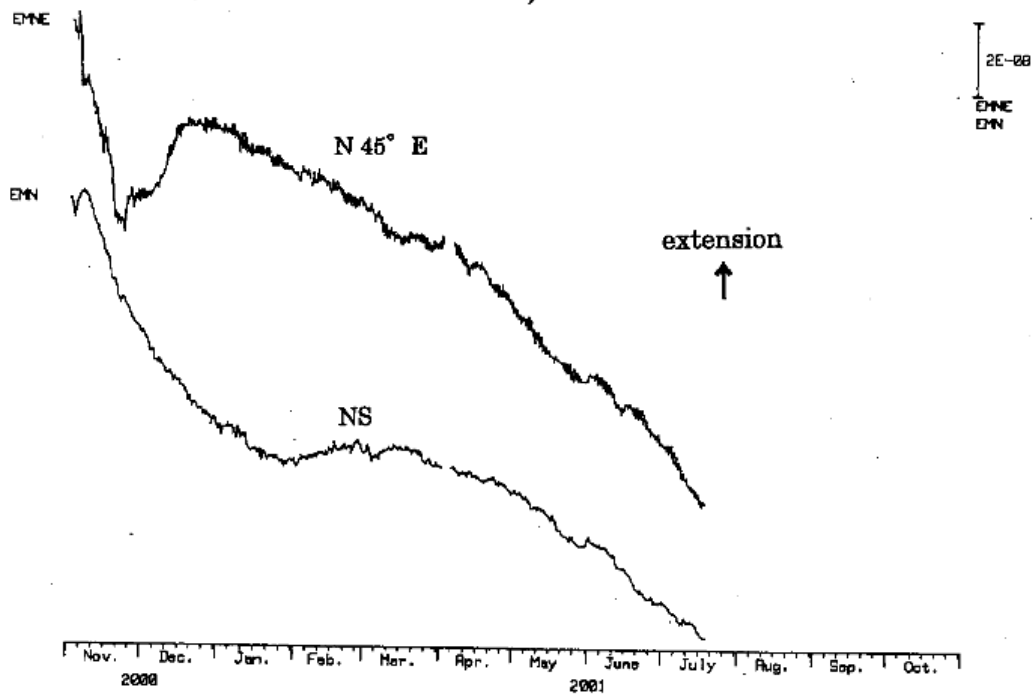
第4図 逢坂山観測所におけるひずみ変化と天ヶ瀬観測室におけるひずみ変化(2000年11月~2001年10月)

Fig.4 Strain change at Osakayama and strain change at Amagase (November 1, 2000-October 31, 2001).

# DONZURUBO



# ROKKO(TSURUKABUTO)



第 5 図 屯鶴峯観測所におけるひずみ変化・雨量と六甲鶴甲観測室におけるひずみ変化(2000年11月~2001年10月)

Fig.5 Strain change and daily precipitation at Donzurubo and strain change at Rokkotsurukabuto (November 1, 2000-October 31, 2001).